

§ 協会の動き(平成 22 年 8 月・9 月分)

平成 22 年度経営者セミナーの開催

(企業対策委員会事業)

8 月 25 日(水) 建産連研修センターで、今回の内容としては、2 部構成で開催されました。

部「改正労働基準法について」(講師：埼玉労働局 監督課 指導官)

平成 22 年 4 月 1 日より施行され改正点についての説明と伴に関連資料を配布しました。

〔主な内容〕 時間外労働の限度に関する基準の見直し関係
法定割増賃金率の引上げ
年次有給休暇の時間単位付与

部「競争入札を勝ち続けるために」(講師：公共土木積算研究所 担当者)

サブテーマ：埼玉県電気設備工事における最低制限価格の算出

〔主な内容〕 算出に当たり影響を受ける重要項目の説明
情報公開システムを利用した具体例の説明

参加者は、経営者をはじめ、実務担当の職員である労務担当者や営業関係者等を含め、多数の方にご参加いただきました。



[荻野会長]



[熊田企業対策
委員長]



[部「改正労働基準法
について」]



[部「競争入札を
勝ち続けるために」]

1 級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会(実地コース)実施

(技術研究委員会事業)

平成 22 年度 1 級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース)を 9 月 14 日、21 日、28 日の 3 日間の日程で実施します。

初日の技術研究委員長挨拶では、「学科試験に受かったことは嬉しいことですが、最終目標は、合格証書を受け取ることです。この講習は、3 日間という短い期間ですが、この間に目標を達成するつもりで、小泉先生のご指導のもと一生懸命、勉学に励んでください。この資格は、今後どのような事があっても、皆さん自身の為になるものなのです。是非ともそれを肝に銘じて頑張って下さい。」と受講生を激励されました。

18 名の受験予定者は、最終目標に向かって真剣に講習に取り組んでおられました。



[ガイダンス風景]



[模擬試験に取り組む受講生たち]

平成22年度 災害復旧対策講習会

(事故防止対策委員会事業)

協会では、平成17年9月に埼玉県と締結した「災害時における電気設備等の応急対策業務に関する協定」及び関係19課所と結んだ細目協定に基づき『災害実働マニュアル』を作成しております。

そして、県内電気設備工事専門業者としての機動力と専門知識を活かした非常時の電気設備復旧対策の体制作りには協会員が一丸となって取り組んでいるところです。

その一環として、毎年、マニュアルの見直しの説明と防災に関する知識の習得のため講習会を開催しており、今年度は、9/14(火)に建産連研修センター2階第一会議室で実施しました。

埼玉県 危機管理防災部 消防防災課 西成副課長様よりご挨拶をいただいた後、3部にわけて講習を行いました。

[第1部] 『埼玉県の防災対策について』

埼玉県 危機管理防災部 消防防災課 地震対策担当 細野主査 様

〔主な内容〕・過去埼玉県が被害を受けた地震による災害と今後起こりうる地震災害について
・埼玉県の防災対策の現況について

[第2部] 『建築物の防災対策～震災時と平時の建築物安全対策～』

埼玉県 都市整備部 建築安全課 震災対策・構造指導担当 高頭主査 様

〔主な内容〕・震災時の安全対策(震前対策/震後対策)について
・平時の安全対策について

[第3部] 『災害時の実働体制について』

社団法人埼玉県電業協会 事務局

〔主な内容〕・役員改選年における組織表及び連絡体制の大幅変更について
・埼玉県有施設 PAS 障害時対応について

この講習会は毎年、各会員企業から複数名の参加をいただき、大勢の方に参加いただいております。さらに秋には、全会員参加の実働訓練も予定し、体制作りの強化に努めております。



[会場の様子]



[1部：埼玉県の防災対策について]



[2部：建築物の防災対策]